

育てたい人間像

品位ある人格がすべての原点

「一人ひとりを尊重する姿勢が群を抜いている」

ハーベスト医療福祉専門学校の卒業生について、就職先から、こうした意味の言葉をしばしば言っていたことがあります。本校はこの評価を、人と人との温かいつながりを大切にし、何ごとにも心を込めて取り組める専門家の育成に力を注いできたことの結果として受け取っています。

本校の運営母体である学校法人摺河学園は、「心の優秀さを引き出す教育」をすべての教育の根幹としてきました。品位ある人格の上にこそ、勉学における優秀さが成り立つ、という考え方によるものです。そして、この原点は、本校においても変わりません。

実学を追求する専門学校である以上、確かな知識と技術を身につけることは当然です。しかし本校はそれらを、手段と位置づけています。一人ひとりに対し、常に思いやりの気持ちを持ち、その人の立場に立って最善を尽くす。そのことを実現したいから、手段である知識と技術を真剣に学ぶ。それが、本校のめざす専門教育です。

まず一流の社会人であれ

対象者に最大限の対応を行う「目的」を実践するため、本校は、専門家である前に、一流の社会人であることを大切に考えています。人を相手にして成り立つ医療福祉の分野では、すべての対応が、まず相手に受け容れられることから始まります。多くの人は、信頼できない

相手に自分の人生の一端を預けていいとは思わないし、豊富な知識や高度な技術は、受け容れられた上でしか役立たないからです。

そして、信頼できる人間性は、多くの人々の一般的な感覚によって判断されます。だからこそ、本校は礼儀作法・立ち居振る舞い・言葉遣いや、社会で必要な常識・マナーについての教育を徹底しています。この取り組みは、一つの授業内にとどまらず、学校生活全般できめ細やかに実践されています。

飽くなき向上心と柔軟な適応力

一方で本校は、すべての相手に「心」で対応する人間を育てることを、最重視しています。相手のことを徹底的に思う「心」が、知識や技術を身につけたいという強い動機につながるからです。

同時に、「飽くなき向上心」と「柔軟な適応力」も大切にしたいと考えています。医療福祉の分野で一流と呼ばれる人たちの多くが、誰からも受け容れられるのは、経験を積むなかで自身が成長した結果にほかなりません。また、絶えず変化する社会で、知識や技術を磨き続けるためには、「相手の特性を踏まえ、臨機応変に自分で考え行動できる力」が求められます。

医療福祉の分野で、「心」と「知識・技術」を兼ね備えた品位ある人材を育む——この目標を実現すること、で、「地域社会に不可欠な学校」として、その発展に寄与していきたい、本校はそう考えています。